

おお大勝利

平成 22 年度山東サッカー部報第 15 号 (8 月 23 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

夏の強化突らず 鶴工に「連敗」

8 月 21 日 (土) 県総合運動公園にて Y リーグ鶴岡工業戦が行われました。山東は前節、東海大山形に敗れて 4 位転落。鶴工に敗れると 5 位転落となるので、山場となる戦い。Y リーグの 6 位まで、来春の県総体のシード権を獲得しますが¹、5 位、6 位 (第 7 シード、第 8 シード) は、第 1、2 シードと近いところのシードとなりますので、4 位以内には是非とも入りたい。夏場の強化を活かした勝ち点 3 が、この節でほしいところ。

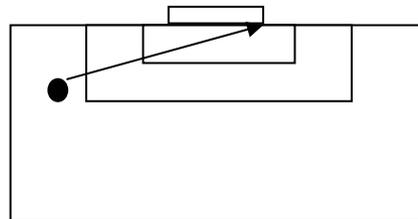
序盤、不安定な立ち上がりながら、FW が引いて (足元で) ボールを受けて敵 CDF を引き出した後、その裏に回り込む等の動きから、チャンスを作り出す。GK も抜いて、あとはゴールに決めるだけ、というシーンもありましたが、決定機をものにできず。そんなシーンの後に敵に形勢が傾くのは勝負の鉄則。この日は、遠征においてまずまずの働きをしていたボランチのボール回しに冴えが見られない。徐々に鶴工 FW のランニングに DF ラインが下げられ、押し込まれる時間が多くなる。すると前半の終盤、敵のセンターリングのこぼれ球を山東の CDF と GK が「お見合い」。CDF からすれば、敵 FW を前に行かせまいと体を入れているので GK が出てきてボールをキャッチしてほしかったのですが、GK からすれば当然その CDF がボールをクリアするものと思っている。一度体を入れられた敵 FW だが、もたもたする山東ディフェンスを尻目に、体を再度入れなおしチョコンとキック。ごっつあんゴールを決められる。「山形東サッカーOB会HP」の変酋長殿の写真解説にもありましたが、指示の声・叱咤激励の声などなど、ともかく声が出ず静かな今年の新人チーム。主力選手に特にその傾向が強い。顧問がうるさすぎると選手は声を出す必要を感じなくなるのか。前半を 0 - 1 で折り返す。

後半、まずは同点にしようという気合の入った山東イレブンが、序盤に良い時間を迎える。鶴工ゴール前をボールが横切り山東の選手が飛び込むといった、「触れば一点」の展開となるが、突らず。すると、中盤であれこれやっている間にポジショニングを誤った山東 GK が、敵の何でもなしシュート²をまさかの「見逃し」。ゴールから遠く外れると (GK が) 思ったシュートは、ゴールの隅っこでもないところにきれいに収まり、0 - 2。Y リーグ初先発で経験不足の GK からすれば、悔やんでも悔やみきれない失点。その後、GK が交代し、気分一新、再スタートを切った山東だが、不用意に与えた FK から直接決められ 0 - 3 に。

¹ プリンスリーグ東北 2010 (2 部) に高体連のチームが 2 チーム (山形中央、日大山形) 参加しているため、Y 1 からは 6 チームの、計 8 チームがシード権を獲得できます。

² というか、このシュートを打った鶴工の選手は、GK がゴールをがら空きにしていたので、普段は打たないような弱いシュートを、コース目がけて蹴ったのだと思います。

低いボールが、ニアサイドに走り込む敵味方の間をすり抜けてファーサイドにそのまま入るゴール(右図)。もし同じシュートを誰もいない中で蹴られたらGKが絶対キャッチできたであろうボールなのですが、フィールドプレーヤー(FP)がボールの軌道を横切る形で動き、GKはコースを変えられた時のために備えるので、GKがボールの軌道上にそのまま入ることが難しい、嫌らしいシュート。実は第1ラウンド鶴工戦でも、同じ形から失点しているので、「またしてもやられた！」痛恨の失点。3失点で万事休す。その後、試合を面白くしようとしたのか鶴工が緩んでくれて、35分過ぎからOG(お運ゴールならぬOwn Goal)とゴメスのヘディングシュートで追撃するも、時すでに遅し。前がかった山東の裏を突かれ失点し、終わってみれば結局2 - 4の敗戦。



前節からの連敗となりますし、第一ラウンドで敗れた鶴工に連敗したという、二重の意味で連敗してしまった山東。しかも4失点目を除いていづれもいただけない形からの失点で、こたえる負け方とはまさにこのこと。夏の遠征・合宿がすぐ形とはなりませんでした。Y1も残すところあと3試合(山東にとって)。下を向かず次節に備えますので、応援よろしくをお願いします。

9月4日(土) Yリーグ第12節 VS 上山明新館 10:00 ~ @天童第2

夏の遠征・合宿 ご報告

今号では8月7日のサッカー部OB会主催のフェスティバルのご報告から。卒業1年目、2年目のOBが中心となり、多数のOBの皆様が集まってくださいました。プレーされたのは上は50代の方までで、2年ほど前にピッチに降臨された奥山OB会副会長はテントの中でOBの動きをチェック。ヤングOBと引退したばかりの3年生がはつらつとプレーしていました。プレー後は恒例の佐門のもつ煮をほおぼる。昨年のように汁まで「完売」とはなりませんでした。大築君を中心に現役生がガンガン食べていました！

8月9日~11日の月山合宿では日差しはきついながらも「下界」よりは幾分涼しい環境で、しっかりトレーニングを行ってきました。特に今年はフィジカル・トレーニングに多くの時間を費やし、東海大山形に触発されて始めた「月山制覇」³も敢行。「地獄だった」とは長距離走の力のある田嶋副主将の言葉。田嶋君が言うんですから本当なのでしょう。

8月16日~18日は岩手県花巻市で開催されたフェスティバルに参加。東北地方を中心とした様々な大学や高校と試合を重ねてきました。青森山田高校のBチームとも試合をしました(1 - 2で敗戦)。Aチーム、Bチームとも、様々なタイプのチームとの試合経験が今後の成長の糧となるでしょう。

夏の遠征・合宿にあたり、保護者会の皆さまから激励金を頂戴しました。ありがとうございました。

³ 国道112号線から月山姥沢駐車場(山の麓)までの上り道をひたすら走り続けること。東海大山形サッカー部のブログをご覧ください。ちなみに今年の東海の1位の選手の記録は55分！驚異の記録です。山東の1位は65分。全く歯が立ちませんでした。東海の1位の選手は大学駅伝で「山の神」になれる素質があるのでは？